

木馬会会報 (第31号)

＊オークス特集＊

～木馬達の予想～

本誌 TP

オークス

◎…ワンダーパヒューム ○…プライムステージ ▲…ダンスパートナー

△…イブキニュースター、ジョージビューティ、ユウキビバーチェ、ライデンリーダー

～予想者の屁理屈～

テーマは、桜花賞組とその他の路線組と、どちらが強いということだと思う。去年こそ、忘れな草賞組とトライアル組で決まったが、例年は桜花賞組が断然強い。そこで去年を振り返ってみたいが、まったくの混戦模様だったのである。桜花賞も万馬券。3着で距離伸びてこそと思われたローブモンタントが引退。であるから他の路線組が上位を占めることが可能だったのである。しかし今年は桜花賞上位組がそろって出走を予定しており、桜花賞もほぼ人気上位馬がそのまま着順の上位を占めたことを考えて、やはり桜花賞組を上位とみたい。

さて、もっとも信頼のおけるのがDパートナーであろう。連に絡まなかったことがない。ところが戦績が1着1回2着3回。2着が多いということは3着になる可能性がその分高いということである。1着と2着の差は大きいのである（エリ女のアマゾン、キャロルがいい例）。また、中間の状態もあまりよくないと聞く。今回は単穴にとどめる。そこで本命に抜擢したのが桜花賞馬Wパヒュームである。血統的な面から見てみよう。父フォティテンの代表産駒といえば、アラにゴールドマウンテン。気性が荒く短距離血統のイメージがあるが、自身はミルリーフの肌にニジンスキーという非常に重い血を持っている。こういう血統は大物を出す下地がある。そして、パヒュームはレースで掛かることはないし、追えば他の馬を抜こうという根性を見せる、全くもってとってもいい気性を持っているのだ。桜花賞も田原騎手が語っていたように勝ちにいて押し通すという非常に強いレースをしており、決してブロックではない。中間の状態も絶好ということで自信の本命である。対抗にはPステージ。イレ込み癖、詰めの甘さで人気は下降ぎみだが、一度東京を経験していることと、レースで掛かる気性ではないこと、鞍上が名手であることから軽く扱うことはできないだろう。実力的に見劣ることはなく、かなり人気が落ちているようだと言われている。連穴だが、まずIニュースター。ロベルトの肌にニジンスキーという世界的な血統であり、そのいかにも重そうな血統から、オークス向きだと思っていた。しかし、このところ3連勝だが、あまり強い印象はない。前走も突き抜けられなかったところに線の細さがある。相手関係を見ても決して強くなく、桜花賞組とは一寸差がある気もする。この時の2着、ツキノロマンはローテーションがきつく、まずいらないだろう。続いて、10和減で出走し、快勝したサイレントハピネスは、休み明けの馬体減後ということで消し。中間ふっくらしてきたとはいえ、

その裏返しは調教を軽くしたということでもあり、名牝ニシノフラワーの例を見てもオークスはそんなに甘くない。そのレースで2着だったJビューティはフラワーCでは追込み、トライアルでは引っ掛けて先行と、それでいて2着に来たのは多いに賞賛されるべき。内枠で前が壁になり、末脚を温存できれば単穴まであるのではないか。鞍上南井も多いに魅力。ライデンリーダーは血統的に底力不足。Yビバーチェもチューリップ賞勝ちが内を拘った分というのを露呈した。ここではやや役不足。

さて、今週の提言は、

やっばり桜花賞

先週は買わなかった。現在の回収率：66.6%

予想者 へな

オークス

◎…イブキニュースター ○…ジョージビューティ ▲…ユウキビバーチェ
△…プライムステージ △…ダンスパートナー △…ライデンリーダー

…予想者の屁理屈…

府中（左回り）を経験していて、長距離輸送に強く（東京1戦1勝、中山2戦2勝）、血統的に長距離がよい上、晴雨兼用で、更なる体調の良化がうかがえるという完璧なまでに条件のそろったイブキニュースターが大本命である。いい脚が長く使えるという最高の武器も持っており、まず連は外さないだろう。

イブキにとって最大のライバルになるのがジョージビューティ。イブキ同様に好条件が揃っており、勝負根性が抜群なところが素晴らしいと思う。ただ、中2週というローテーションがやや気になり対抗まで。

桜花賞組では、太った上に出遅れて包まれて競馬にならなかったユウキビバーチェと、道中馬ごみの中で折り合い、直線凄いい切れを見せた神様仏様岡部様のプライムステージが距離の伸びた今回、一番変わってきそうで要注意だろう。

オークス予想の前に安田記念の回顧から。やはり4年連続万馬券は出なかった。混戦の時ほど比較的順当に収まるとの筆者の論法は的中した。筆者の予想は2～5着、馬券は外したものの、レース後、心地よい清涼感と優越感を感じてしまった。

(しかし直線のハートレイクとチトセオーの斜行で2頭が失格になれば、106倍の万馬券になったのだが、ちょっぴり悔しい。)

桜花賞はライデンリーダーを中心とする比較的絞しやすいレースであったが、本番でRリーダーは弱点を露出し、オークスは一転して混戦ムードだ。

まずは桜花賞組から。Rリーダーは前走は前がふさがり足を余した形の4着。強くして負けたというのが率直な印象だ。しかし距離、初コースを考えると全幅の信頼はおけない。

次にユウキビバーチェ、前走は勝負が終わったところをいい足で突っ込んでの5着、血統的に距離伸びていいタイプだし、大幅な馬体減さえなければ有力な1頭。

次にダンスパートナー、エアダブリンの下ということで血統的に裏付けは十分なものの、中間の体調落ちからか状態がイマイチと伝えられる。取捨は直前の追い切りまで待ちたい。

次にプライムステージ、気性の難しいこの馬に1マイル半はあまりに長すぎる。消し。

次にワンダーパミューム、桜花賞を伏兵として制覇し、血統的にもマイナス材料はないといわれる。しかし前走の挑戦者の立場と、今回受けてたつ立場とではプレッシャーも変わってこよう。来てもおかしくない馬だが、この馬の取捨はあえて“捨”としたい。

トライアル組では断然イブキニュースターだ。距離伸びて本格化してきた馬であり、中距離で3連勝している実績は桜花賞上位馬にヒケをとらない。連軸候補としては有力な1頭である。

サンライトハピネスは前走休養明けを1着し、新たなSS馬としてアピールした。前走後の回復も早く人気になるだろうが、GIはそんなに甘くないような気がする。ということで消し。

その他ジョージビューティ、ジョウノカオルコ、ツキノロマンなど、伏兵がいるものの、桜花賞上位馬との実力差は歴然だ。

◎イブキニュースター

○ユウキビバーチェ

▲ライデンリーダー

△ダンスパートナー

オークス

◎ダンスパートナー ○ライデンリーダー ▲ワンダーパヒューム

△サイレントハピネス △プライムステージ △ユウキビバーチェ 注アラマサキャップ

4才戦はタイムベースの予想でいきます。この時期になってくるとオープンではタイムで黒字0.5秒以上が必要。京都のマーガレットSはこれでバッチリでした。

ここへ来て4才馬の女性上位が完全に崩れてきた。さつき賞以後は牡馬の時計が非常に優秀になってきたのに対し、牝馬の場合トライアルの時計は成長が止まっている。これは、成長度というよりも桜花賞組が強いということを示していると考えられる。したがってオークスは桜花賞上位5頭のBOXで90%信頼度があると考えている。

下表に有力馬のタイム分析を掲示した。黒字0.5秒以上マークは下線で示した。タイム上位3頭は、A:ワンダーパヒューム、B:ライデンリーダー、C:プライムステージとなる。

しかし、オークスとなるとやはり距離適性が問題となる。エアダブリンの妹のダンスパートナーを本命に押す。兄とは違って切れる。スタートも5戦目となれば、イブキインターハイの京都4才特別のように好スタートが切れそう。とにかくモヤモヤしていた武騎手の挙式が6月5日に決まり生涯の良きパートナーが決定したご祝儀にダンスパートナーが劇走する。そんな光景が浮かんでくる—と言うより大いに期待したい。

相手は東京が合いそうなライデン。ワンダーは母ラブリースターでは距離が持たない不安がある。これは、一瞬の凄い足を使うタイプ（パートナーやライデンは長くいい足を使うタイプ）だけになんか強く感じる。ただタイムは断然Aであるので一応3番手。

プライムは桜花賞目標だっただけにここではどうか。それよりも桜花賞のライデンのようにトライアル劇走の反動さえなければサイレントハピネスの上昇度がすごい。

あと、先週のチトセオー、アイリッシュダンスで復活をみせたトニービン産駒のユウキビバーチェと、出走できればタイム的には差のないアラマサキャップを挙げておく。

馬 名	タ イ ム 分 析			寸 評
	3 走 前	2 走 前	前 走	
ワンダーパヒューム	0. 3	<u>0. 8</u>	<u>0. 5</u>	問題は距離適性
ダンスパートナー	(0.2)	0. 1	<u>0. 5</u>	武2週連続G1狙う
プライムステージ	0. 4	0. 0	<u>0. 5</u>	桜花賞は本命も
ライデンリーダー	—	<u>0. 6</u>	0. 2	ここ勝負、真価問う
ユウキビバーチェ	<u>0. 7²</u>	0. 1	0. 0	トニービンの逆襲
イブキニュースター	0. 2	0. 0	0. 0	穴人気も時計足りず
ツキノロマン	0. 4	<u>0. 5</u>	(0.1)	距離長い
サイレントハピネス	(0.9)	0. 3	<u>0. 5</u>	上り馬だ
ジョージビューティ	0. 4	(0.1)	0. 4	チョット時計足りず
ジョウノカオルコ	(0.2)	(0.5)	0. 4	1枚落ちる
アラマサキャップ	<u>0. 6</u>	0. 0	0. 1	人気薄で要注意

優駿牝馬

◎ダンスパートナー ○ライデンリーダー ▲ユウキビバーチェ
△プライムステージ, ツキノロマン, イブキニュースター

例年のとおり、桜花賞組とトライアル組のどちらが強いのだが、消耗の激しい牝馬だけにローテンション等を考えれば常識的には桜花賞組。そこでやはり本命は「世界の武豊」騎乗のダンスパートナー。出遅れは相変わらずだが、末だけはしっかりした馬。初の東京（左回り）がどうかだが、杞憂に終わると信じたい。同様のことはライデンリーダーにもいえるが、実力がなければ勝てないG1だけに、他馬を上回る実力を持つ（と考えている）両馬には関係ないだろう。他に怖いのは前走出遅れて上位入線のユウキビバーチェ。騎手が「いまいち」（私は松永幹が嫌いである。）な点を除けば本命にもしたい馬だ。岡部騎乗で人気のプライムステージは、はっきりいって2,400m向きとは思えないので評価を下げる。同様に桜花賞馬ワンダーパヒュームは2,400mもたないとみてノーマーク。それならスイートピーS組のイブキニュースター、ツキノロマンだが、上記4頭に比べると……。特に人気になりそうなイブキニュースターだが、父ニジンスキーはノーザンテースト同様「年を取り過ぎた父」という気がするので評価を下げたい。

来週より3ヶ月半東海研修に行きますので、その間の幹事は小田君に引き継ぎました。よろしくお願いします。また、Gallopの競馬の達人のほうも、各リーダーお願いします。それと7月に福島競馬ツアーを考えておりますのでぜひご参加ください。

第56回 オークス

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
		ワン ダー パ ヒ ュ ム	ライ デ ン リ ー ダ ー	ユウ キ ビ バ ー チ ェ	ヤ ン グ エ ブ ロ ス	マ キ シ ム シ ャ レ ー ド	プ ラ イ ム ス テ ー ジ	ツ キ ノ ロ マ ン	ダ ン ス パ ー ト ナ ー	ス タ ー ラ イ ト マ リ ー	ジ ョ ー ジ ビ ュ ー テ イ	ジ ョ ウ ノ カ オ ル コ	サイ レ ン ト ハ ピ ネ ス	キ タ サ ン サイ レ ン ス	オ ト メ ノ イ ノ リ	エイ ユ ー ギ ャ ル	エイ シ ン サ ン サ ン	ウ エ ス タ ン ド リ ー ム	イ ブ キ ニ ュ ー ス タ ー	馬 名
		◎	△	△			○		▲		△								△	T P
			△	▲			△		△		○								◎	へなりん
			▲	○					▲										◎	覆面デスラー
			○										△	▲					◎	ナニワのラッキー
		▲		◎				△	△								△		○	Y O
		○	★						▲		△		△						◎	ラッキー
		◎	△					○					▲						△	ジュワイヨクチュール
		▲	○	△			△		◎				△							四国の井崎
				△			◎		△		○	△							▲	ミスターX
			○	▲			△	△	◎										△	トインクル★ソディ
		△	×				▲	△				◎							○	おけらくん
				△			△	△	△		△		◎						△	メニーフレソス*

	天秋	菊花	刈女	マイル	J C	阪北	朝日	スP	S	有馬	桜花	皐月	天春	安田	オークス	優駿	宝塚
TP			○	○	○	◎	○	○							◎		
へなりん			○		○		○	○	○	○							
覆面デスラー			○		○				○						◎		
ナニワのラッキー			○	○				○	○								
Y O			○	○	○				○								
ラッキー			○	○	○			○									
ジュワイヨクチュール			○	○	○			○									
四国の井崎			○		○			○									
ミスターX					○						◎						
トインクル★ソディ				○				○									
おけらくん															◎		
メニーフレソス*															◎		

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~